

令和4年度 福井大学教育学部附属特別支援学校 スクールプラン

家庭との連携
一人一人の家庭生活の充実と生きる力（自立と社会参加）を育む教育の充実

地域への期待・インクルーシブ教育
障害のある人となない人が、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合っていく社会の実現

福井大学附属学園第4期中期目標・中期計画における附属学園スクールプランに基づいた教育実践の実現

〈本校の使命〉
○知的障害教育校としての使命
○教育実習校としての使命
○研究開発校としての使命
○教員研修校としての使命

↓

〈本校の教育方針〉
一人一人に合わせた教育
小・中・高一貫した教育
関係機関と連携した教育

〈本校の教育目標〉

- 心身共に健やかな子を育てる
- 生活に必要な基礎的能力を養う
- はたらく喜びをもつ子を育てる

↓

本校研究テーマ
「一人一人の学びが深まるカリキュラム・マネジメント」（4年計画2年次）
～活動がつながり学びが広がる生活をつくる～

- ・児童生徒の実態把握、ねらいの設定、活動づくりを切り離さずに考える
- ・活動と活動との学びのつながりや広がり重視した事例研究
- ・児童生徒の学びを捉えた実践記録の作成(個別プラン、活動案、紀要)

・公開研究会の開催（令和5年1月27日（金）午後オンラインで開催）

		1 教育課程・生活教育	2 生徒指導・保健教育	3 進路指導・キャリア教育	4 教育相談・センター的機能	5 地域交流・インクルーシブ教育
重点目標		個の学びに焦点を当てた活動づくりをとおして、教育課程を検討する。	児童生徒の実態に応じた安全教育・情報教育の充実を図る。 養護教諭、栄養教諭と連携し、継続した保健教育、食育を行う。	段階的な進路指導・キャリア教育を推進する。 児童生徒・保護者の意思決定支援の充実を図る。	児童生徒の教育的ニーズに合わせて「おしゃべりタイム（心の相談会）」の内容の充実を図り、記録や報告の方法を工夫して実施する。	交流相手との連携方法や内容を検討し、児童生徒が地域の人と直接、または間接的に関わる活動を実践する。
具体的 取り 組み	全体	・個々の児童生徒のアセスメント等に使用している本校の「培いたい力」「領域一覧表」の検討 ・大学と連携した活動づくりと実践記録の検討 ・個別プラン、活動案、活動づくりがにつながる実践研究	・安全教育における子どもの学びについて家庭との共有方法の検討 ・小中高の学びの繰り上がり意識した情報教育の実施 ・児童生徒の実態に応じた保健教育、食育 ・養護教諭、栄養教諭との連携	・附属版キャリアプランニングマトリクスの作成及び各学部のキャリア発達を考慮した活動づくり ・アンケートや相談会などを通じた本人の状況把握と、本人による主体的な実習先決定(中・高等部) ・進路だより、学習会、進路相談会、保護者同士の語り合いの場の設定などによる保護者の意向の聞き取りと情報提供	・児童生徒個々の教育的ニーズに合わせた「おしゃべりタイム」の実施（一人1回以上、事前の保護者の意向聴取） ・「おしゃべりタイム」の情報共有と児童生徒の生活への活用(学部会での報告や記録の回覧)	・本校の教育活動と関連付けられた交流活動の内容や方法の検討 ・交流相手との連携の方法検討（直接交流、オンライン、手紙、作品交流など）と実施 ・本校におけるインクルーシブ教育の検討（教育相談部・教務部）
	小学部	・のびのびタイムの遊びと、その他の活動での学びのつながりと広がり意識した活動づくり ・個別プランなど児童の実態把握とねらいの設定を、教師が協働して検討する	・安全、清潔、病気・怪我予防、情報機器活用について、連絡帳や学部だより等を通じた家庭との情報共有 ・家庭と連携しながら、身辺自立を促す保健教育、食育の実施	・キャリア発達を意識した実態の把握とねらいの設定に基づいた「のびのびタイム」の活動づくり ・小学部におけるキャリア発達の育ちについて、学部だよりで家庭に伝える ・小3組児童の高等部現場実習見学(校外学習)の実施	・「おしゃべりタイム」を一人1回程度実施（児童の実態に応じて、話題や時間帯の設定を調整） ・事前・事後における保護者や教師間での情報交換、学部会での報告	・コロナ等の感染症対策を図り、学校間交流、居住地校交流、学園（附属幼稚園）との交流を実施(対面での交流ができない場合でも、個々のニーズに応じて、作品のやりとりやオンラインでの交流などを実施)
	中学部	・生徒の実態や変容を捉え、学びのつながりと広がり意識した活動づくり ・活動づくりにおいて、生徒の実態に応じ、振り返りに配慮する	・安全教育について生活ノートや学部通信等を通じた家庭との情報共有や事後学習の充実 ・生徒の実態に応じた情報機器活用のルール・マナーの徹底 ・ニーズや実態に応じた保健教育、食育(グループ別、個別での実施)	・キャリア発達を意識した「ゆうゆうタイム」の活動づくり ・事業所見学や体験実習報告会などを通し、生徒自身が主体的に進路を考えるための支援	・「おしゃべりタイム週間」を設定し、一人1回以上、必要に応じて複数回実施 ・安心して話せる方法の工夫、記録、学部会での報告	・教育活動を通じた地域(近隣の学校や居住地校、施設)交流の実施 ・互いのニーズや実態に応じてオンラインなどを取り入れた交流の在り方の工夫
高等部	・様々な活動や場面での学びのつながりと広がり意識した「仕事」の活動づくり ・クラスや活動グループなど、複数の教員で検討して個別プランを作成する	・生徒の実態に応じた避難訓練の事前、事後学習の実施と家庭との連携 ・情報機器の活用、危険性や安全な使用方法などの学習の実施 ・保健教育、食育を養護教諭や栄養教諭と連携して定期的実施	・キャリア発達を意識した「仕事」の活動づくり ・学校実習、夏休み体験実習を通じた段階的な実習経験の積み上げ ・実習後の振り返り等、生徒自身が主体的に進路を考えるための支援	・「おしゃべりタイム」を一人1回以上、必要に応じて複数回実施 ・他学部の教員や専門機関等の活用	・「虹の市」の多様な方法での実施 ・生徒の学びの広がりを生む、多様な交流の実施	